



## 平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	24,422	4.7	1,403	20.2	1,497	19.2	952	7.7
29年6月期第3四半期	23,335	1.1	1,167	16.8	1,256	27.0	1,032	36.1

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 1,111百万円 (15.8%) 29年6月期第3四半期 1,319百万円 (124.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	236.80	
29年6月期第3四半期	256.52	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	23,066	11,131	46.4
29年6月期	20,963	10,279	46.9

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 10,701百万円 29年6月期 9,832百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		45.00	45.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.4	1,400	1.2	1,470	1.4	800	24.9	198.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	4,369,200 株	29年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	344,760 株	29年6月期	344,632 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	4,024,470 株	29年6月期3Q	4,024,648 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済が全般に亘り好調で主要国の経済成長が高い水準で継続したことや為替も安定して推移したこと等により企業業績も一段と改善する等、経済全般において大変好調に推移しました。

当社グループとしましては、当社グループの海外ネットワークを活かして海外ビジネスを拡大させているのに加え、国内においてもIoTやAIによって牽引される第4次産業革命といわれる新規イノベーションが新規設備投資を誘発し、IT技術とFA技術の融合領域が守備範囲である当社グループにとっては大きなビジネスチャンスが増大してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は244億22百万円（前年同四半期比4.7%の増）となり、損益面としましては、営業利益が14億3百万円（同20.2%の増）、経常利益が14億97百万円（同19.2%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が9億52百万円（同7.7%の減）となりました。第3四半期の実績としましては売上高、営業利益、経常利益の項目に関して過去最高の実績となりました。

なお、当社のセグメント別概況は次のとおりです。

#### <インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、製造業の製造能力向上を目的とした各種試験機や効率化、自動化等を目指したシステムビジネス、さらに水質連続監視装置等の環境ビジネスも好調であったことから、増収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は84億65百万円（前年同四半期比2.5%の増）、営業利益は6億53百万円（同22.0%の増）となりました。

#### <IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間は、設備投資の回復等の影響を受けたコンポーネント機器やメカトロビジネスが好調に推移したため、前年同期に比べ増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は159億26百万円（前年同四半期比6.0%の増）、営業利益は10億12百万円（同17.6%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は230億66百万円で、前連結会計年度末に比べ21億2百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が9億78百万円、仕掛品が8億67百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が119億34百万円で、前連結会計年度末に比べ12億50百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が9億90百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が111億31百万円で、前連結会計年度末に比べ8億52百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が7億71百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の足元の状況はリーマンショック以降では最も安定的に推移し大変好調ですが、米国と中国の間では政治的思惑による貿易品に対する制裁合戦が始まっており、好調だった世界経済は政治の動向に悪影響を受けるリスクが高まっております。さらに朝鮮半島や中東を取り巻く地政学的リスクにより直ちに円高に向かう可能性も残されております。

当社を取り巻く環境はIoT等の技術革新による新規投資需要と深刻な人手不足等による生産設備の自動化、効率化に対するニーズの高まり等が相まって強い追い風が吹いており、その風に乗って大変好調に推移しております。

以上により、平成30年6月期の通期予想につきましては、平成29年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,628,364	1,265,630
受取手形及び売掛金	8,580,615	9,480,011
電子記録債権	2,156,096	2,235,653
有価証券	113,205	108,036
商品及び製品	351,722	576,797
仕掛品	361,614	1,229,362
原材料	447,512	540,788
その他	183,529	397,712
貸倒引当金	△45,309	△50,518
流動資産合計	13,777,351	15,783,475
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,016,971	4,016,971
その他(純額)	1,122,655	1,094,950
有形固定資産合計	5,139,626	5,111,921
無形固定資産		
	93,795	74,964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,510,957	1,719,662
その他	552,688	506,216
貸倒引当金	△110,858	△129,989
投資その他の資産合計	1,952,787	2,095,889
固定資産合計	7,186,209	7,282,775
資産合計	20,963,561	23,066,250
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,289,654	7,088,485
電子記録債務	974,858	1,166,064
1年内返済予定の長期借入金	-	1,100,000
未払法人税等	311,576	303,710
賞与引当金	148,026	278,991
役員賞与引当金	39,485	-
その他	624,557	1,007,440
流動負債合計	8,388,158	10,944,693
固定負債		
長期借入金	1,700,000	600,000
退職給付に係る負債	221,474	194,080
その他	374,732	195,784
固定負債合計	2,296,206	989,864
負債合計	10,684,364	11,934,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,861,587	1,872,079
利益剰余金	6,680,883	7,452,772
自己株式	△423,993	△424,300
株主資本合計	9,559,917	10,341,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,994	359,791
その他の包括利益累計額合計	272,994	359,791
非支配株主持分	446,285	429,910
純資産合計	10,279,197	11,131,693
負債純資産合計	20,963,561	23,066,250

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	23,335,369	24,422,984
売上原価	19,403,120	20,208,627
売上総利益	3,932,249	4,214,356
販売費及び一般管理費	2,765,215	2,811,148
営業利益	1,167,033	1,403,207
営業外収益		
受取利息	4,411	4,392
受取配当金	12,142	10,857
仕入割引	26,804	29,409
為替差益	39,063	-
補助金収入	-	68,071
雑収入	21,721	14,479
営業外収益合計	104,143	127,209
営業外費用		
支払利息	8,585	5,401
手形売却損	534	1,393
売上割引	2,699	2,710
貸倒引当金繰入額	-	18,625
雑損失	3,128	4,986
営業外費用合計	14,948	33,117
経常利益	1,256,228	1,497,299
特別利益		
固定資産売却益	261,014	585
投資有価証券売却益	82,575	86,275
特別利益合計	343,589	86,860
特別損失		
固定資産除却損	20,852	493
固定資産売却損	77	-
投資有価証券売却損	4,170	-
事務所移転費用	627	7,259
特別損失合計	25,727	7,752
税金等調整前四半期純利益	1,574,090	1,576,407
法人税等	486,741	554,577
四半期純利益	1,087,348	1,021,830
非支配株主に帰属する四半期純利益	54,938	68,835
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,410	952,995



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	1,087,348	1,021,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,066	89,375
その他の包括利益合計	232,066	89,375
四半期包括利益	1,319,414	1,111,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,248,866	1,039,792
非支配株主に係る四半期包括利益	70,547	71,414

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,258,570	15,019,862	23,278,433	56,936	23,335,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	370,301	261,333	631,635	52,895	684,531
計	8,628,872	15,281,196	23,910,069	109,832	24,019,901
セグメント利益	535,611	860,369	1,395,981	87,006	1,482,988

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395,981
「その他」の区分の利益	87,006
全社費用(注)	△315,955
四半期連結損益計算書の営業利益	1,167,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,465,238	15,926,327	24,391,565	31,418	24,422,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	248,622	396,965	645,587	52,074	697,661
計	8,713,860	16,323,292	25,037,153	83,493	25,120,646
セグメント利益	653,350	1,012,132	1,665,482	70,209	1,735,692

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,665,482
「その他」の区分の利益	70,209
全社費用(注)	△332,484
四半期連結損益計算書の営業利益	1,403,207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。